

## 令和5年度伊賀市文化振興プランにかかる意見交換会概要

実施日 令和5年7月28日（金）午前10時～12時

場 所 伊賀市文化会館

テーマ 「子どもや若者たちと文化芸術をつなぐために」

- グループテーマ
- A「観光・産業との連携による伊賀市の文化芸術の全国発信」
  - B「次世代へと繋ぐ担い手や後継者の育成」
  - C「子どもたちが文化芸術を体感できる機会の充実」
  - D「文化芸術を通じた多様性を認め合う社会の実現」
  - E「歴史と風土が育んだ文化芸術の継承及び新たな文化芸術の創造」

参加者 56名

概 要 参加者が5つのグループに分かれ、テーマについて80分間意見交換をした。  
その後、全体で集まり、各グループで意見交換した内容を参加者間で共有した。

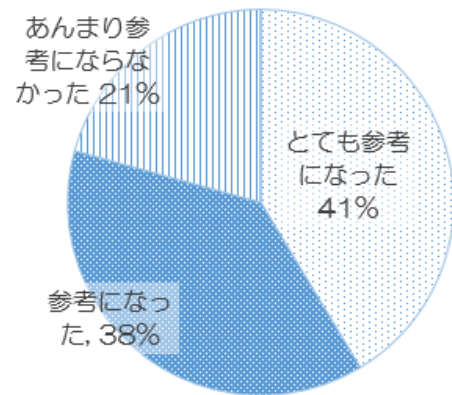
## 意見交換内容

- ・各種団体による日頃の活動が、なかなか子どもや若者につながらない。何らかの行事を通じて他分野と連携すれば、これまで関わりのなかった団体等が横につながれる。
- ・現代の子どもは、例えば絵を描く時、タブレット等を使うことで自己完結し、組織や団体に属さない傾向がある。色んなイベントを興すことで、子どもたちの参加の機会を増やせるのではないか。
- ・周知にはSNSを活用し、より広く保護者に伝える取り組みが必要。アプリを作成し、伊賀のイベントが一覧で見られるようになればよい。
- ・「誰ひとり取り残さない」が現代社会のキーワード。立場の異なる者のそれぞれが領域を超えて何を協働するか。
- ・多様なジャンルの者が集まり、テーマを絞りながら可能な取り組みについて話し合う「プラットフォーム」を作り、合議体として実績を積み重ねたい。
- ・生きがいを持つためには、文化芸術が必要。経済的理由等で参加したくてもできない市民には、行政の力が必要。文化芸術に触れる機会を均等に提供するためには、その前提を踏まえねばならないし、それは福祉にも返ってくる。
- ・自分だけの活動で担えない部分を行政に一部関わってもらい、効果的な支援を得ることで地域の文化力やまちづくりに効果的につなげることも必要。
- ・学校に通えない子どもが年々増えており、その子どもたちも体験できる機会がほしい。文化や芸術に触れてやりたいことを見つけ、生きる力につなげてほしい。
- ・放課後児童クラブや子ども食堂を舞台に、文化芸術を知る機会がつかれないか。
- ・伝統文化や歴史文化を地域の子供たちにも知ってもらえる機会を与えることが大事。必要な情報が子どもたちに行き届くような手法を考えることが重要。
- ・地元作家や若者の作品発表の場の確保や、市民展覧会などに出品する若年層が、社会に出てからも引き続き作品展に出品できることを知ってもらえるような環境づくりが必要。
- ・モノづくりの現場で作業を見て体感することが、発見や気づきにつながり、それぞれの文化の力になる。

## 令和5年度伊賀市文化振興プランにかかる意見交換会アンケート集計

Q 本日の意見交換会はあなたにとって参考になりましたか。

とても参考になった	12
参考になった	11
あんまり参考にならなかった	6
全然参考にならなかった	0
無回答	0

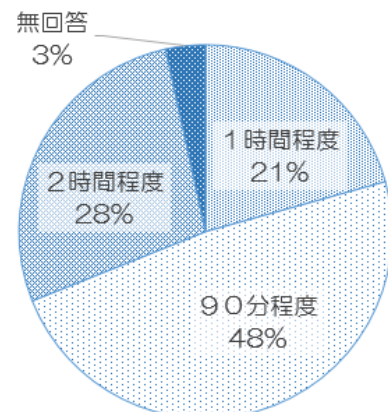


Q 上記を選んだ理由（抜粋）

- ・ いろんな方々と話げできたことがとても参考になった。現状の問題点と共通したことが多く参考になった。
- ・ これまで自分の活動するジャンルでの交流しかなかったが、他ジャンルの方々、業種の違う方々との話し合いができて、視野が広がった。
- ・ 文化・芸術とは違う分野からの参加であったので、課題解決のすべ等について考える意見もあり、参考になりました。
- ・ 今後の取り組み等への要望が主だったので、あまり参考にならなかった。
- ・ 自分たちの団体だけでは解決できない問題をのべることが出来て良かった。
- ・ グループ別対議もあり、グループごとの発表も聞けて、考えを言う・聞いて情報を知る機会になりました。
- ・ 真剣に今困っている現状を聴くことが出来た。実際にこどもや若者の意見を聴くことが大切。情報共有。
- ・ テーマから外れている意見交換会のように感じた。
- ・ 自身にとって資源を増やす機会となった。個人的には「各々でつながることも大事だが、大きなまとまりとして一定の定義の中で文化交流をする」という仕組みの大切さが見えた。

Q 会議の内容を深めるため、あなたが必要と思う所要時間は。

1時間程度	6
90分程度	14
2時間程度	8
無回答	1



Q 次回以降に取り上げてほしいテーマ（抜粋）

- ・ 社会に対して共通の考えを共感できることについて。協力できる案件について。
- ・ 地域・福祉と文化芸術は分けてみるのではなく、中にあるものであるという概念をもって話をしたい。
- ・ 実現したい（やってみたい）イベントを考えるワーク等をしてみてはどうか。横につながりを広げるため。
- ・ テーマをもう少し絞って良いと思う。
- ・ 文化振興を支える場なので、伊賀市が事業を行う新図書館や新美術館に対して市民の意見交換を行う場として、機能するとよいのではないか。
- ・ 子ども、若い世代を巻き込んだテーマ。「何を必要としているか」
- ・ 伊賀に「文化」を根付けるには、どんな仕掛けが必要か？理由として、ネタがあっても活かせていないのでは？と思うから。
- ・ 情報発信

Q その他、ご意見があればお書きください。（抜粋）

- ・ 「アウトリーチ」が苦手な分野の助けになるきっかけがあればいいですね。やってみたい。
- ・ 今日の分科会では、色々な意見がでて大変良かったと思う。しかし、意見だけに終わらず大変だけど是非実行いただきたいと思います。伊賀市の美術館も是非作ってほしいです。
- ・ とにかく、環境づくりを整えていかないといけないと思う。
- ・ 色々な課題を少しでも他団体の方と協力しながら助け合いながらクリアしていけたらと思う。
- ・ 学校で取り組んでいる活動を知りたい。
- ・ 1つの目的に対して集まる場所（プラットフォーム）の構築により人と人とのつながりが生まれる可能性に期待したい。